下今井交差点でバイパス経由で	rist		後退である。	ある
今·	m		烏呼、生舌感覚憂先、遊び感覚の	いして思は着せないこと
ドライブの時によく見ているお 赤坂台掠防育を通過する 右手	as		するこぶびはかった。 秘は隣接する部屋の採光を犠牲に	くして思こ旨せないここ こに人のために奉仕して
🕯 护			「境に次の部屋に「おかって」るのだ。	は、つこうこをという
こうゴンドー 公益等代 うつこう 竜王新町交差点通過、直進す		以下次号 _	面が窓になっていて、残り一面の壁を	、世の中で一番事へこ
竜王町に入る、はるか西方に銀		コードを持ってきた。	は南側に突き出した位置にあり、三	せきことである
- る。山梨県立美術館前を通過後		中占り手可し着音機に後女かり/ と言父亲がとこがに言じてれたのか	ところが話が進むうちに、当の部屋	のことである。
識に登場したので甲州街道の終		とうだめ、た明期であったか。ある	たのである。	ことは他人の主舌をう
キロメートルと書かれている。	0 3 4 8	外このよいのこ時月であつこが、ある	ず、ハルニろまでゆけるようこ思え	、世の中で一番みこく
	見かかま 今長お文が一 稿発怠。 回文か章ら	閉応にいこが、前時は加て記述に 私は母方の実家がある千葉県の疎	それでも、これでまとめてもらえれ しただけのことである。	
た 遺三丁二人・3、はらい国立二かる。 山柔県立美術館前を通過	が行慢 はをげを	のことになる。 	とに防音資材を使ってもらうように	である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
への 目場で無対対対対の 標識に登場したので甲州街道の	がと 小頁でご業	私が小学高学年から中学生にかけて	工の棟梁に頼んで床、壁、天井、窓な	いことは仕事のないこと
二キロメートルと書かれている	ら回任 会感しくき	一に、思いを馳せれば、戦後間もなく	するといつようなことではなく、大	、世の中で一番さびし
貢川交差点通過、交差点の先に	なこを 員謝プリ	この欲求の京点といつようなもの	たところで、その方の専門家に依頼	
下して身延を通過して静岡県の	くいじ 手てを味た	一 ごっ 貫して楽しみてきなことに砕か	袈裟にいってみ	てある。
五十二号線は竜王から双葉町	年編で 書い堪わ。			なことは教養のないこと
宿場の韮崎宿までを歩いた。	3集いきま能いな	热意には皮があるが、分目に含ま 半世紀以上も前のことになる。その	一心の音量で徳かなければ、なこし 意味し ラセガ語作が	、世の中で一番みじめ
用し早春の甲舟駅こ降り立つ、第八回目のサ行に三月中旬で	一門背まのす。	とクラシック音楽との出会いは、もう	音量のことを	
第八回目の長庁は三月中旬で 山の放力になく 東海道 としへる		いっぱしを気取らせてもらえば、私		く仕事をもつことである
ロの依人はなく見事道に比べるてあったそうだ。 徳川幕府の単		ぞもクラシック音楽とのなれ初め》		とうりことである。 一つがたことに一つがたる
だらつ ここうごこ 恵一寡牙)とた。 参筆文件でこの往道を利用	クサミ 軒 ゴ続らる初ではゴ	してきいているのである。」	đ.	
ご。 参加を代でこり 野道を利用する 下府宿に入った我々に切に習	近三二昂 ルし時こ回し4ルス ラーダ こうけんしゅう	はモーツアルトの音楽をポピュラーと	~	、世の中で一番楽しく
メートルほと行った所にある。	さ福一会 フて代とのこれフ	トをきくことも出来る。しかしそれ		
リアでは、100mmにある。 リア酒折駅前を通過し更に甲斐	俊れお一 が 再参りに参び、 賃	アルコールの酔いの中でモーツアル	-を含む匹六時中といつこ	心訓
と頭行民分に通過しずには 町由来か書かれた木柱が立てて	ま 所 一 フ に ま 化 し 者 年 た 。 者	述)の著書に次のような一文がある。	v	
丁日兵が書いれこで主が立つて一号線は直線となって横根跨線	ったし 終 よしとまは最			
分ほど歩くと丁気石和温泉駅入	。ま一店 るたとしこ後 しての こかもたいの て	ないといけないと思う。	な話になるのである。	。同封の出欠葉書は必ずお出し下
石和の中心街に入り石和八幡	す。一おン残に、名コー申	方だと思っていたが、行き過ぎは改め	だが、これを意訳すると結構厄介	
があったので少し遅い昼食をと	知べ念終いら	をもたなかったしむしろ自然な聴き	けなのである。	実川 実 会員
堤防上に「甲州名物ほうとう」	らをな結 いべ 訳	なって以来この音楽の聴き方に疑問し	かな私の願いからである。ただそれだ	宏
いく道と分かれる分岐点に「笛	せ継がす。これ	私はアルゴルをコこするようこ	きな条件で」といつ控えめで、ささや	
入る。今度は川を左手に見て歩		あるのだが。	好きなときに、好きな音楽を、好	私のその後は次の会員に
の堤防に向かい、道路の左側に		全く也人羕こは米惑千万な舌では一糸だ翼しのでする	ディオルームにすることを考えた。	その他
正午近く日川橋を渡る、この	軒昂会 代表者 小泉 岩根	色う作りである。	一階八畳間を防音性能をもったオー	会計監査 ・野呂監査役
樹が葡萄から桃に変わっていく しりごかい	口座番号 二一三六九00	このは言語のこれであり、分ものできま趣味ともいわれようとも私に	もち上がつことき、私は曽築部分の おた家を坪改等しまっことして詩だ	会計報告・・田村幹事
は見当につなくなり、日川高交」の多名を対している。	店番号(三七一)「店番号)」三七一	こでも楽しい。	「戈が家を曽女能しよう。これう舌が 十年にと前にたるか 老杯家屋の	会長ご挨拶を持つる。
と悪気の交差点が丘づくと欠ている。 近害: てみると文政士	株式会社がずま根子 厚木化コ支店 まてお振り込み下さい	量で掛けて、一緒に喚くのは何と言	上まご可によるが、シロス屋の 大分遣ってしる	〒会費払斉みの方は結構です。 電子 日台村七て街叫します。
これら、丘野のこみらこで牧一百メート川ほど歩くと万福寺参	十二、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	気分で大好きな曲を思いっきり大音	投入の方が思うにまかせず、実情は	(豊二千円/17つせて徴又します。 一倍・糸名名費・平万十五年月)
一百人・レモニュニュニテラー 西沂渓谷方面からきた国道匹	「大人」「「大人」「大人」「「大人」「「大人」「「大人」」	とはいっても、酩酊して陶然とした	それに先立つものの制約から、お金の	一 うべん かまずき は、 かまずき 焼き ニーン 食み 放起し
「形態が近づいった」に関連にいる事とを確する国として全国		減っているのだろう。	幸いか不幸か病状が比較的軽症だ。	、文質にで洗ぎる。 マダチ女真 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
帯帯の産地として知ら	新会員募集中です、紹介お願いします。	いるので周囲に対する迷惑もその分	13	7 一丁三千丘百円 カン・参照 一
が次の第	ĺ	動させて大音響で聴く機会が減って		<i>=:</i> /
勝沼の町の中には観光葡萄		装置の音量も昔のように、家鳴り振		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
まで先を急ぐので、見学		内楽や器楽曲などが増える傾向で、		(日(月)
スター	四自己都合や遠方転宅等・十一名	も、大編成の威勢のよりものから、室	込み、遂には病膏盲で装置の鎮座す	平成十六年一月十八 (日)~
		これなど明と道で、 曲に対する好か		



おの残る下今井地区) いった、甲府の西方に位置するでいく二十号線と別れて我々はでいく二十号線と別れて我々はなって中山道の岩村田に向かう。なって中山道の岩村田に向から。